

国士舘大学楓教育会

教育論作文の書き方 (東京都版)

I はじめに

押さえておくべき**法的根拠**

II 合格論文の書き方

- 1 **論文構成上**の一般的注意事項
- 2 **論文採点者**を意識する
- 3 **事前準備**

III 論文構成の実際

- 1 **字数**
- 2 具体的な**論文構成**

押さえしておくべき

法的根拠

I 押させておくべき法的根拠

(1)教育基本法「教育の目的」

第1条「教育は人格完成...」 第6条②「学校においては教育の目標...」

(2)学校教育法「教育の目的」

第21条①「学校内おける社会的...」 ~ 第21条⑩「職業に...」

(3)学校教育法「学力の3要素」※これからの評価に関わる

第30条、②「 ... 必要な思考力、判断力、表現力 その他の...」

(4)学習指導要領改訂の基本的な考え方

①確かな学力 ②豊かな人間性 ③健康と体力

Ⅱ 合格論文の書き方

論文とは、
与えられたテーマに対して、
そのテーマを正面から捉え、
限られた字数の中で自分の
言葉で論理的に表現した文
章のこと。

論文の構成は 三段論法で書く！

A 具体的な方策を2つ上げて述べる(315字以内)

○序論 (字数 3割 9行)

※起・承・転・結

B 問題意識やまとめを含めて述べる(735字以内)

○本論 (字数 6割 18行)

※四段構成

○結論 (字数 1割 3行)

※決意を述べる

1 論文構成上の注意事項

- (1) 選択した問題の**番号**に○
- (2) 指定された**実数**に注意
- (3) 問題文に示された**条件**を漏らさない
- (4) **広い視野**に立って論文を構成
- (5) 「**学習指導要領**」に基づく
- (6) 学校が行う**教育活動**とは
- (7) 問題の**キーワード**で一貫性のある論述で
- (8) **教員を志す**者が書く文章として適切に

2 論文の採点者を意識する ①

- (1)誤字脱字、とめ、はね、はらいに注意
- (2)指定字数を守る(1050字以内840字を超える)
※漢字は舛目いっぱい、ひらがなは8割の大きさ
- (3)課題把握で各答申の(根拠)の指摘
- (4)生徒と直接接した経験を述べる
- (5)自分の考えを述べる

2 論文の採点者を意識する ②

(6)教師としての実践を広い視野で述べる

(7)3つの視点をもらさず述べる

①教科指導の内容と方法 ... 個人

②生徒指導の内容と方法 ... 同僚と協働

③保護者・地域との連携 ... 地域と連携

(8)論理的表現力・表記が適切である

(9)論文全体に一貫性がある

(10)教師としてふさわしい文章

3 事前準備をする

演習

演習 その1

生徒が生きていく

「これからの社会」は

どんな社会と捉えるか

演習 その2

その社会で生きていくために

あなたは教師としてどんな

「生徒像」を目指すか

演習 その3

あなたがこれまで生徒と直接
接してきた経験をあげ、
その経験から何を学んだか

演習 その4

その経験を生かし、これから社会を生きぬく生徒を育成するために教師としてどのように指導していくか。(学習指導要領に即して)

Ⅲ 論文構成の実際

1 字 数

840字を超えることは、25行以上。
1050字以内は30行以内。したがって、**25行から30行の範囲内**とする。字数は行単位で数える。改行して余白があってもその余白は字数に入る。

2 具体的な論文構成

A 具体的な方策を2つ上げて述べる(315字以内)

○序論 (字数 3割 9行) .. 315字
※起・承・転・結

B 問題意識やまとめを含めて述べる(735字以内)

○本論 (字数 6割 18行) .. 630字
※四段構成

○結論 (字数 1割 3行) .. 105字
※決意を述べる

(1) 序論

課題に対して自分の考えを書く(9行)

【起】課題の重要性を述べる(2行)

※例「これからの未来を背負う生徒は ... 」

(文部科学省、東京都教育委員会の時代把握)

【承】課題が重要な理由を述べる(2行)

※例「この課題が ...何故重要なのか社会背景(理由)」

(各答申に基づく(OECD、PISA、中教審、都教育ビジョン))

【転】生徒の実態を述べる(3行)

※例「しかしながら、生徒は ... 」

(生徒を接した経験を通して成果と課題)

【結】自分の考えを述べる(2行)・**※ポイント！** **2つの方策を述べる**

※例「したがって、これらの学校では ... と考える。」

(2) 本論

解決策を述べる(18行)

【第一段落】校種、教科を書く(2行)

※例「その上に立って私は、〇〇教師として新学習指導要領に即して ...」

【第二段落】教科領域から取組内容・方法(7行)

※例「第一に、教科指導を通して学習意欲を引き出す ...」・・・1本目の方策

【第三段落】教科領域以外から取組内容・方法(7行)

※例「第二に、学級経営を通して、 ... 」・・・2本目の方策

【第四段落】課題返し(2行)

※例「このような指導を意図的、計画的に継続し実践して ...できると確信する。」

(3) 結論

決意を述べる(2行)

※例「私は、子供の夢を実現させるために、一人一人の ... そのため校長
の指導を仰ぎ、他の教師と協力し、家庭、地域と連携しながら ... 教師になる
決意である。」

論述の観点

- ①東京都が求める教師像を踏まえる
- ②組織の一員として
- ③校長の経営方針に従って教育活動を行う決意
- ④公教育としての国民の信託に答える
- ⑤教師としての自己研鑽を怠らない

国士舘大学楓教育会

教育論作文の書き方 (東京都版)